

# 審議会等の会議結果報告書

課所名

こども課保育係

会議名 令和4年度 第1回保育所専門委員会

開催日時 令和5年3月8日(水) 10時00分～12時00分

開催場所 諏訪市役所 501 会議室

出席者  
 (出席者) 関隆雄委員、宮澤節子委員、宮本幸男委員、島津美穂子委員、古谷良太委員、野田安則委員、茅野純子委員、矢嶋美香委員  
 (欠席者) 中原彩加委員、木澤千波委員  
 (事務局) 守屋健康福祉部長、柿澤こども課長、宮澤保育係長、西山発達支援室長、今村子育て支援係長、濱

資料  
 保育所専門委員会名簿、保育所専門委員会の役割、第二期諏訪市子ども・子育て支援事業計画「令和4年度進捗状況報告書」、R4 子ども・子育て支援事業計画進捗状況報告書に対する質疑応答、「ひろがる笑顔」ゆめ保育所プラン及び概要版、令和5年度市内保育所等入所状況、令和5年度当初予算(案)の概要

## 協議議題(内容)及び会議結果(要旨)

### 1. 開会

### 2. 健康福祉部長あいさつ

保育所専門委員会は、地方版子ども・子育て支援会議に位置付けられており、子ども・子育て全般に関して意見をいただきたい。国は令和5年4月からこども家庭庁を創設、少子化対策等の施策を実施してく中で、市としてもこの流れに乗り遅れないよう、地域に根差した支援を行っていく。また、アフターコロナを見据えながら施策を展開していく時期、協力をお願いしたい。

### 3. 自己紹介

### 4. 正副委員長の選任

委員長: 関隆雄委員

副委員長: 宮澤節子委員

### 5. 議事

#### 【事務局より連絡事項】

- ・令和5年度より、こども課発達支援室をこども応援係へ組織改正。現在、社会福祉課で担っている子どもの療育、障がいに係る業務、また、こども課保育係が所管する子育て支援センターについて、こども応援係へ所管替えを行う。

- ・令和6年度の第三期諏訪市子ども・子育て支援事業計画策定に向けて、市民ニーズや状況把握のためのアンケート調査を令和5年度中に実施する予定。

#### (1)「第二期諏訪市子ども・子育て支援事業計画」の進行管理について

##### 【事務局より進捗状況報告、質問・回答説明】

##### 【委員より】

- ・評価する際に、内容を理解していないと適正な評価へつなげられない。事前に詳細な内容(例: 子育て支援に係る各施設の特徴、利用者状況、件数や課題等)を資料と併せて提供する等、より丁寧に対応してもらいたい。

・進捗状況の報告書に、より数値的な情報があれば理解が深まる。

(事務局: 次回以降は、評価を依頼するにあたり具体的な数値や資料を提供したい。内容を理解した上で評価してもらえるような仕組みづくりを行っていききたい。)

・子ども達の置かれている状況や支援を必要としている人の声を聞くことが大切。情報収集や発信について公・民の連携が必要。

(事務局: 情報を知らないまま我慢している方がいる場合もある。市民への認知に向けて、周知広報活動を行っていききたい。)

・保育士の確保について情報提供。明石市では保育所総合支援サポートセンターがあり、保育士の求人、保育所のPR活動を行っている。また、関西の主要都市(神戸市、明石市等)では、保育士定着支援金(保育士への家賃支援等)があり、保育士の確保に向けての取組を行っている。

(事務局: 情報として知っておくことは大切。今後の研究材料とさせていただく。)

#### 【関委員長より】

・この議事について、承認いただける場合は拍手をもってお願いしたい。

・議事内容について、各委員より意見・感想をお願いしたい。

#### 【委員より】

・保育所職員として、制度や事業について必要に応じて保護者に説明を行っているが、これだけある事業について改めて周知の必要性を感じている。

・学校に入ると相談窓口が学校だけになってしまう。制度や事業について多くの方に周知する必要性がある。

・多くの情報を得ることができ、保護者から問い合わせがあれば必要な施策を紹介していくよう心掛ける。幼児教育の大切さをどう発信していくかに苦慮している。幼児教育が充実した地域であってほしい、協力していききたい。

・非常に幅広い、大変な事業内容となっており、関係機関の連携が必要となる。令和5年度より市の組織改正、保育所のおむつ回収事業等、変化を実感している。

・大切ことは、数多くある制度に対して必要な人をどう導いてあげるか。必ずその制度に導いてあげられるような仕組みづくりが必要。

#### 【事務局より】

・多くの制度がある中で、本当に必要としている方に届ける方法、周知が課題。より良い方法を研究して支援につなげていく、協力をお願いしたい。

### (2)「ひろがる笑顔」ゆめ保育所プラン」の進行管理について

#### 【事務局より説明】

##### 進捗状況

・令和2年度、各地区公民館にて説明会を実施

・令和3年度、保護者会連合会へ周知

・令和4年度、中洲保育園、きみいち保育園にて説明会を実施

#### 【委員より】

・小規模園をどうしていくかがポイントとなる。課題を整理して、保育所専門委員会に提示した上で意見交換をする機会を設けてほしい。

(事務局: 保護者の意見を集約しながら市としてプランの進め方を検討していききたい。プランを策定するにあたり、保育所専門委員会の意見が集約されている。プランの進捗について、適宜説明をさせていただき、意見を聞きながら市全体でより良い保育をつくり上げていききたい。

・保育園に通う、0～6歳は子どもにとって大切な時期。家庭だけでなく社会全体で子育てをする仕組みを確立してほしい。保育所専門委員会で検討してよい方向につなげていききたい。

・民間活力の活用について。設立した民間保育所における運営理念等について、市が関わるの

か。

(事務局: 民設民営が基本となる。民間保育所の理念を活かした保育や幼児教育を展開してもらいたい、市としての一定の基準や考え方は統一させてもらいたい。民間の理念を活かしながら、市としての協力体制をとっていく。

【関委員長より】

・この議事について、承認いただける場合は拍手をもってお願いしたい。

(3)その他

①令和5年度 市内保育所等入所状況(令和5年3月6日現在)について

【事務局より説明】

②令和5年度 こども課の主要事業について

【事務局より説明】

【委員より】

・新聞で岡谷市の保育園において、心理士を雇い保育士のサポートを行っている内容の記事を見た。保育士について、ストレス解消や相談先を設ける等のケアが必要。

(事務局: 市では職員サポート室があり、サポート室を活用しながら保育士をケアしていく。加えて保育ICT導入により保育士の負担を減らしながら、保育士が自分と向き合える時間をつくる。参考にさせていただき、現場保育士の働きやすい環境づくりにつなげていきたい。

6. 閉会